



新小山市市民病院ニュースレター

Shin-kyama City Hospital News letter

Vol.46

1 小山市近郊地域医療連携協議会・医師部会

～ 連携の重要性を再確認！ ～

過日、コロナ禍により見合わせていた小山市近郊地域医療連携協議会医師部会が5年ぶりに開催されました。

会議は、島田会長（新小山市市民病院理事長）および宮脇医師部会長の挨拶から始まり、小山市近郊地域医療連携協議会の活動報告、転院実績報告、地域の救急事情、入退院支援システムのお知らせなどを行ないました。

会議後の懇親会では星野副部会長（星野病院理事長）の挨拶に始まり、参加者全員の自己紹介を行った後、活発な意見交換を行い、この5年の医療環境の変化によって連携の重要性がさらに強くなったことなどを確認する大変有意義な会となりました。



目次:

医師部会 5年ぶり開催.....	1
ケアブック導入	2
決算報告.....	3
ふれあいまつり	4
連携協議会セミナー	5
お知らせ	6

ハイライト

- 8月に入職された先生を紹介
- ケアブックを導入
- 令和5年度の決算報告
- 時間外選定療養費の運用拡大を開始(10/1～)
- 小山市近郊地域医療連携協議会 セミナーを開催

2 新任医師紹介

新たに1名の医師が入職しました。



呼吸器内科
医員
棚橋 早穂

令和6年8月より呼吸器内科で勤務しております、棚橋 早穂（たなはし さほ）と申します。神戸大学を卒業後、奈良県立医科大学の呼吸器内科に2019年に入局し、大学病院や市中病院で肺癌、感染症など呼吸器疾患および一般内科の診療を行っておりました。

今後は、専門性を高めるべく精進しつつ、地域の医療に貢献できるよう努めてまいります。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

分からないこと、質問等ございましたら、いつでも、医療連携室までご連絡ください。



「入退院支援クラウド“ケアブック”を導入しました！」

いままで転院調整は電話と FAX を中心としていましたが、転院が決まるまでには多くの手間と時間が必要でした。また FAX では写真や文字が見えづらいことや誤送信のリスクも難点でした。

この入退院支援クラウドは、送る側・送られる側の双方で使いやすく、双方の電話確認作業の大幅な業務軽減や画像の鮮明さ FAX 誤送信のリスクがないこと、さらに費用面においてもメリットが大きいことから導入にいたりしました。もちろんセキュリティ対策も十分に判断しています。

また、電話によるコミュニケーションがすべて無くなるわけではなく、信頼関係を保ったままやりとりができることも安心です。

現時点では、近隣の小山市近郊地域医療連携協議会（15 病院協議会）を中心に運用を開始していきませんが、他地域や施設、訪問診療などに利用できる許容性もありますので、システムの今後の展開に期待しています。



「始まっています！紹介受診重点医療機関!!」

令和5（2023）年に新制度として、「紹介受診重点医療機関」の公表がスタートしました。

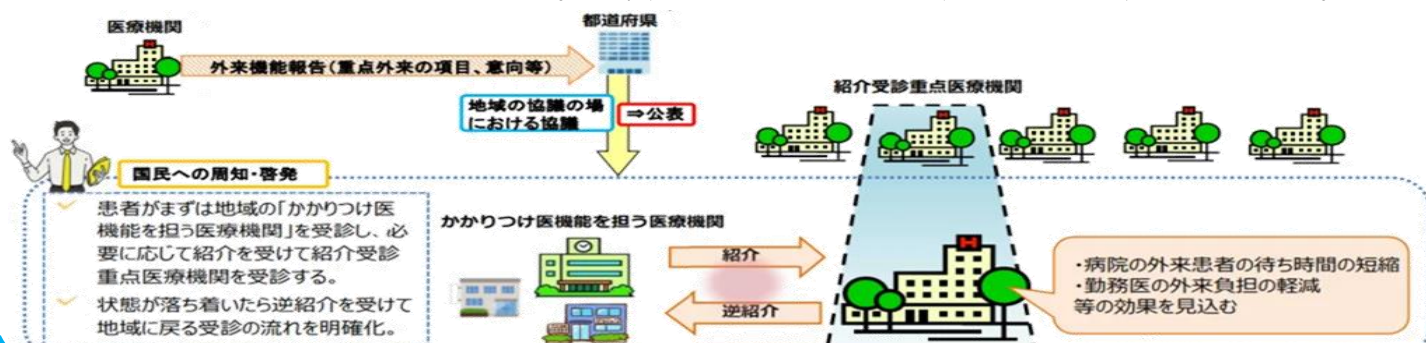
外来機能の明確化・連携を強化し、患者の流れの円滑化を図るため、医療資源を重点的に活用する外来の機能に着目して、以下のとおり紹介患者への外来を基本とする医療機関（紹介受診重点医療機関）を明確化することが厚労省より通知されました。

- ① 外来機能報告制度を創設し、医療機関が都道府県に対して外来医療の実施状況や紹介受診重点医療機関となる意向の有無等を報告
- ② 栃木県における「地域の協議の場」において、報告を踏まえ、協議を行い、協議が整った医療機関を栃木県が公表する
- ③ 公表されると紹介受診重点医療機関（一般病床 200 床以上の病院に限る。）は、紹介状がない外来受診時の定額負担（選定療養費）の対象となる

紹介受診重点医療機関では、かかりつけ医等からの紹介状を持つ紹介患者への外来診療を基本とします。専門的な検査や治療が必要と判断された場合には、紹介状を交付し医療連携をお願いいたします。紹介状のありなしにかかわらず、受診は可能ですが、紹介状がなく来院された場合は、一部負担金（3割負担等）とは別の「特別の料金（選定療養費）」が原則必要となります。

また、病状が安定した患者に対しては、今後の治療・お薬の処方などをかかりつけ医や身近な医療機関などで受けていただくようお願いしております。その場合は、紹介状を交付いたします。

地域の医療機関どうしの役割分担により、適切な検査や治療をよりスムーズに受けられるようになり、待ち時間の短縮などが期待されています。何卒、ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。



出典：第6回外来機能報告等に関するWG（令和3年12月17日）

令和5年度決算について

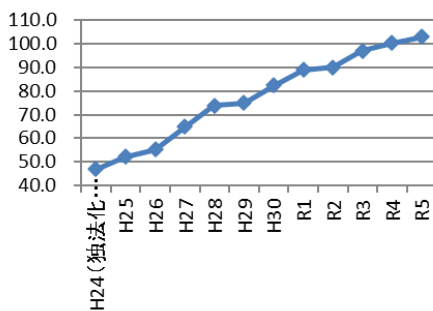
～ 皆さまのご支援により地独法化以降11年連続の黒字決算を継続できました ～

令和5年度も地域の医療ニーズに適切にお応えすべく、職員一丸で取り組んでまいりました。特に公的な地域中核病院の責務である救急診療においては、従来から掲げる「断らない救急」の方針のもと、**救急車搬送件数 4,793 件（令和4年度比 1.9%増）、全体の救急患者数 8,272 件（同 3.1%増）、うち入院患者数 3,158 件（同 0.6%増）**とすべての項目で前年度を上回る実績を残しており、一定の地域貢献ができたものと自負しています。

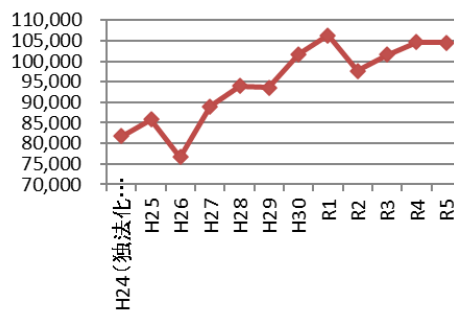
経営面においては、コロナの影響は減少した一方で、従来から続く物価上昇や人手不足といった逆風は一層厳しくなる中、持続可能な病院として将来に亘り生き残っていくためには黒字継続による財務基盤の強化が不可欠であるという強い信念のもと、「**最高の患者サービス**」、「**医療・ケアの質とレベル向上**」、「**病床のフル活用**」という基本方針に則り収益の確保に努めた結果、本業の**医業収益では過去最高額**となりました。またコスト削減にも積極的に取り組むことで、**地独法化初年度から続く黒字決算を何とか継続**することができました。これも地域の皆さまならびに医療機関の方々のご支援とご理解があってこそこのことであり、職員一同、心より感謝申し上げます。

今後病院を取り巻く環境はさらに厳しくなることが予想されますが、これからも皆さまから信頼され必要とされる地域の中核病院であり続けるべく、より一層の医療機能の充実に努めてまいります。

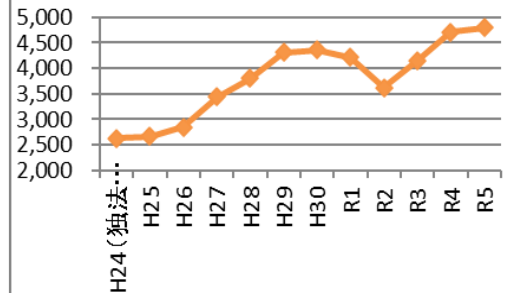
医業収益(億円)



入院患者数(人)



救急車搬送患者数(人)

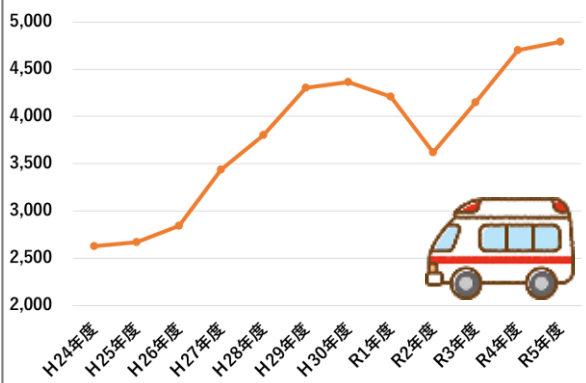


救急車の適正利用のため、時間外選定療養費の運用拡大を行います！

～10月1日より開始～

本紙6月号において、当院の救急車受入状況と、本院の救急の逼迫状況をお示しし、規模の面でキャパオーバーが生じていることをお伝えしました。この内情としましては、本来、救急搬送の必要がないと思われる軽症者の利用が多分に含まれており、その軽症と判断された割合は、全日で約半数、うち夜間で6割強となります。さらに、極少数となりますが、明らかにタクシー代りに救急車を利用している事例が散見されております。

当院への救急車搬送台数



当院では2年前より、安易な救急外来利用の抑制を目的に、時間外選定療養費（救急を利用する程ではなかったと判断した場合に、通常の診療費に加えて7,700円を自己負担して頂くもの）を制度化しました。そこには救急車利用者は含めておりません。

しかしながら、上述のような救急車不適正利用者への対応をすることで、本来救うべき緊急性のある重症患者をお断りするのは本末転倒であるため、苦渋の決断ではありますが、本年10月1日より、時間外選定療養費を救急車不適正利用者にも拡大適用することとしました。

医師会の先生方におかれましては、何卒、収益を意図することではないこと、また本院、ひいては本地区の救急医療を守っていくことであることをご理解いただき、ご協力のほどお願い申し上げます。

第11回

新小山市民病院ふれあい祭り

10月20日(日)

9:45～14:30

共創く未来へつなぐ小山の医療く

◇ ミニ講演会 ◇

『小児アレルギーについて』

小児科医 亀田 聡子医師

『がんに関すること』

認定看護師 寺門 裕子看護師・鈴木 孝枝看護師

※講演内容・時間等が変更になる場合がございます。

◇ 体験コーナー ◇

ドクター・ナース・DMAT になれる! 【白衣体験】

あわてず救命 【心肺蘇生体験】

薬剤師のお仕事体験 【調剤体験】

顕微鏡で覗く 臓器の仕組み【臓器組織の観察体験】

※他にも多数のコーナーを開催の予定です。

◇ ステージイベント ◇



9:50～オープニングセレモニー

【chaRENge】

ダンススクールチャレンジ
chaRENge

11:45～【ふうにゃ&むむにゃ】

ランチタイム撮影会

14:15～エンディングセレモニー

【とちぎジュニアオーケストラ】



※イベント内容・時間等が変更になる場合がございます。

◇ 盛りだくさんのイベント ◇



※他にもたくさんのイベントを開催の予定です。

駐車場ののご案内

お車でお越しのお客様は右図の
外来駐車場をご利用ください。



Shin-Oyama City Hospital
地方独立行政法人

新小山市民病院

〒323-0827 小山市大字神鳥谷2251番地 1

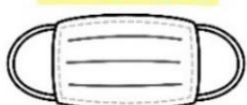
TEL : 0285-36-0200(代) FAX : 0285-36-0300

休日夜間受付 : 0285-36-0290

Google Map



マスク着用



ご協力をお願いします。

病院内では必ずマスク
をご着用ください

後援 一社) 小山地区医師会 一社) 小山歯科医師会 一社) 小山薬剤師会



令和6年度小山市近郊地域医療連携協議会 研修会 を開催しました

『スピリチュアルケアとは

～病を抱える人の心に寄りそう～ 』

日 時 8月27日（火）午後7時00分～午後8時00分

場 所 新小山市民病院 2F さくらホール

講 師 たまおき みょうゆう
玉置 妙憂 先生

（看護師・僧侶・スピリチュアルケア師・ケアマネージャー・看護教員）

参加者 83名（会場、Zoom）



8月27日(火)、令和6年度 小山市近郊地域医療連携協議会「研修会」を行いました。

今回は、講師に『スピリチュアルケア』のスペシャリストとして活躍されている玉置 妙憂（たまおき みょうゆう）先生をお招きし、講演頂きました。

玉置先生の緩和ケア病棟での経験を交えながらのお話は、具体的にとてもわかりやすく、今後の生き方、仕事につながる内容でした。また、援助者としてのあり方についても改めて考える機会となりました。

特に、スピリチュアルケアの方法の中で『物語を書き換える』お話は、新たな考え方で目から鱗が落ちるようでした。

先生の『物語を書き換える』とは、物語の書き手は自分であり、例えば苦しいと感じることでも、何度も本人が話すことで物語が書き換わり、気持ちに変化する、という内容でした。

今回の講演が、参加された皆様に少しでもお役に立てれば幸いです。

患者支援センター

(受付時間 平日 8:30~17:15)

医療連携室：

0285-36-0252

(緊急の患者紹介・転入相談・
その他地域連携に関すること)

予約専用ダイヤル：

0285-36-0254

(もの忘れ外来・内科・脳神経
内科・循環器内科の受診予約・
胃カメラ・心エコー・腹部エコー
などの検査予約)

医療相談室：

0285-36-0256

(医療相談・退院調整に関するこ
と・MSWに連絡・その他、外来患
者の各種相談に関すること)

FAX：

0285-36-0352

メール：

renkei@hospital.oyama.tochigi.jp

※メールでも受付しております。



地方独立行政法人
新小山市市民病院

〒323-0827

栃木県小山市神鳥谷 2251 番地 1

☎ 0285-36-0200 (代表)

ホームページ

<http://hospital-shinoyama.jp/>

看護師採用サイト

<http://hospital-shinoyama.jp/nurse/>

Facebook

<https://www.facebook.com/shin.oya.ma.city.hospital>



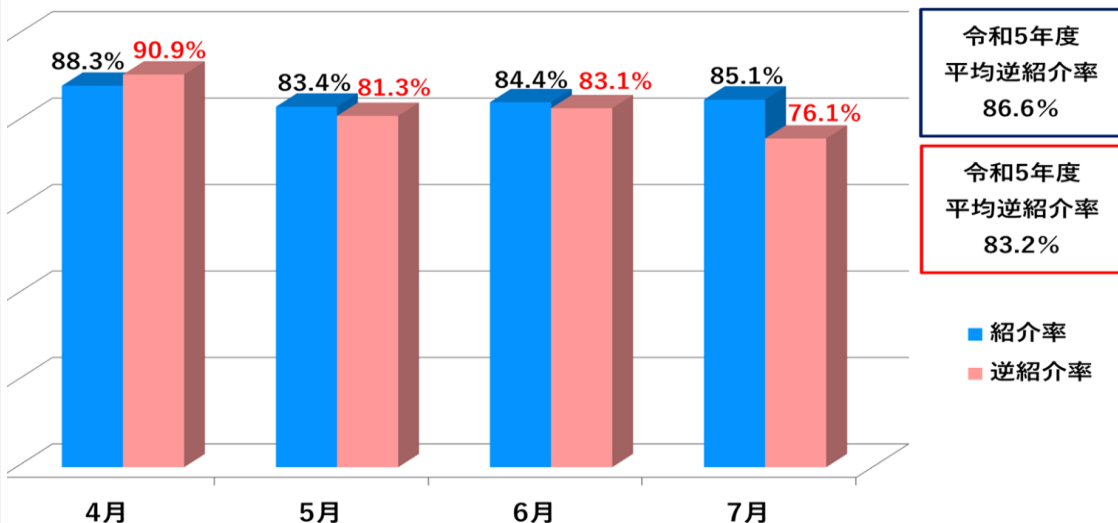
独法化10周年を
記念して記念誌を
作成しました。
ぜひご覧下さい。

患者支援センターからのお知らせ



いつも当院運営にご理解、ご協力頂きありがとうございます。
4月~7月計は、前年比で紹介患者数110人増でした。

令和5年度 紹介率・逆紹介率



第49回 地域完結型医療・連携の会WEBライブセミナー

地域完結型医療・連携の会 WEBライブセミナーにご参加いただきありがとうございます。
地域完結型医療・連携の会では、紹介患者さんの症例報告・検討を
通じて診療情報や当該疾患の診断治療法を紹介し、情報交換の機会となっています。

次回、「第50回 地域完結型医療・連携の会 WEBライブセミナー」は
9/19(木)に開催します。皆様の参加をお待ちしております。

- ・日時 7月18日(木) 19:15~
- ・座長 猪瀬外科部長・院外参加者 24名
- ・症例報告者、症例



外科 山田医師 「外側型盲腸周囲ヘルニアにより腸閉塞を来した症例」
耳鼻咽喉科 小野医師 「頸部リンパ節腫大で判明した中咽頭癌の1例」(WEB)
循環器内科 蓮見医師 「高齢者の洞不全症候群に対して緊急で
リードスペースメーカーを挿入した一例」



・発表者は3名とも、「連携の会」
では初めての症例報告でした。



・活発な質疑応答が行われました。

地域完結型 医療・連携の会

奇数月、
第3木曜日 19:15
オンライン(Zoom)にて
開催しています。

ポットラック カンファレンス

偶数月、
第1火曜日 19:15
オンライン(Zoom)にて
開催しています。

10/1, 12/3, 2/4

	日 程	症例報告
第50回	令和6年 9月19日 (木) 参加申込受付中です	脳神経内科・糖尿病代謝内科・眼科 神内/亀田Dr・糖代/堀越Dr・眼科/高橋Dr
第51回	令和6年 11月21日 (木)	脳神経外科・耳鼻咽喉科・泌尿器科
第52回	令和7年 1月16日 (木)	循環器内科・呼吸器内科・腎臓内科
第53回	令和7年 3月13日 (木) ※第2木曜日	消化器内科・外科・小児科